

## 小樽運河研究講座開設趣意書

## 小樽運河研究講座

開設期間 昭和53年11月上旬～昭和54年1月下旬

開設場所 メリーズ フィッシュマーケット

小樽市場町6-5 電話 52-5916

小樽は北海道開拓史において重要な役割を果たした古く歴史のあるまちです。特に、明治・大正期には本道の商業・経済をリードするほどの繁栄を示し、幾多の人材も輩出されました。しかし、戦後経済条件の変化により、まちの機勢は停滞し、「寂滅」の名を冠せられて久しいものがあります。

そのなかで、都市問題の矛盾も生じ、その問題の解決が将来のまちのあり方を決定するよう多岐な時期に反響さしかかっているといえます。特に運河をとりまく諸問題は、小樽の経済・文化・市民生活全般にかかわる重要な問題であると考えられます。

しかし、現在その問題に対して十分な研究・理解の場が設けられていないのが現状です。ここで、問題の原点に立ちかえり、総合的視野から問題に検討を加えることが必要であると考えられます。

そこで私たちは、行政・経済・文化・都市 etc から専門家をむかえ、市民をまじえた総合的な学習研究の場を設けようとするものであります。そのなかで、問題点が総合的に絡み合いにきれ、必ずや新しい「運河学」ともいべき指針が生みだされるものと考えます。

運河問題は深くわけなく、その解決の道は平州でないと考えられますが、本講座が問題解決の第一歩に立ちかえりたいであります。

つきましては、皆様の深い御理解・御協力を御願い申しあげます。

小樽運河研究講座準備委員会（仮称）

代表 渡 辺 真 一 郎

小樽市市場2-5-6 渡辺南村

電話 22-4548

### 講義内容予定

運河の形成と歴史	都市内交通の発達とその歴史
石造倉庫群と近代様式建築	中城開発と地場産業
運河文学史	都市と港の発展
運河をめぐる映像・絵画	河川浄化と都市の緑化
日本における町並み保存の歴史	生活環境整備とまちづくり
町並み保存の制度と事業	優先開発と都市計画
地域開発と行政の役割	まちづくりと市民運動

### 講師予定（交渉中）

矢 島 建	（宅地開発研究所・地域計画）
田 村 明	（茨城県企画開発局長・都市計画）
石 中 公 雄	（東京都都市計画局長・交野計画）
北 村 方	（神戸大学専任講師・生活環境計画）
尾 達 富士夫	（北海道大学教授・土地地計画）
越 野 武	（北海道大学助教授・建築史）
神 山 桂 一	（北海道大学教授・衛生工学）
竹 山 実	（高松野美術大学教授・都市計画）
小 林 俊 彦	（沼本曾町観光課長）
前 辺 雄太郎	（船造製菓事務所所長）
奥 田 道 大	（立教大学教授・社会学）
西 公 明日香	（画 家）
日 川 洋 衣	（映画監督）
松々木 逸 郎	（脚本家）
小笠原 克	（藤女子大学教授・国文学）